

「白菜のタネ」が宇宙に飛び立ちます

東北復興宇宙ミッション「浦戸宇宙白菜」出発式

震災から10年、世界中の皆様からの支援に感謝し、復興の姿を宇宙から発信するため、日本の白菜のふるさと・塩竈市（浦戸）から「浦戸宇宙白菜のタネ」が国際宇宙ステーションに出発します。



1. 日 時 令和3年2月2日(火) 午後3時30分から

2. 場 所 塩竈市役所 2階会議室

3. 出席者 塩竈市長 佐藤 光樹

(敬称略)

一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川洋一

仙台大学附属明成高等学校 校長 中村 勝彦

同 食文化創志科 学科長 高橋 信壮

同 法人事務局 月本麻美子

同 学生の皆さん



東北復興宇宙ミッションってなに？

2021年、震災から10年を迎えるにあたり、世界中から頂いた支援に対する感謝の気持ちを込めて、国際宇宙ステーションから世界に向けてメッセージを発信する事業です。一般財団法人ワンアースが事務局となって実行委員会を立ち上げ、主に被災自治体が参画しています。



塩竈市浦戸桂島

(旧浦戸第二小学校前採種圃場)



浦戸と白菜の深～い繋がりとは…？

浦戸諸島は、大正11年(1922年)から白菜の採種研究が行われ、仙台白菜の源流である「松島白菜」のタネが日本で初めて量産化された地であり、言わば「日本の白菜のふるさと」です。あの宮沢賢治も松島白菜を「下ノ畑」で栽培したという噂も…。

問い合わせ先

塩竈市市民総務部政策課 担当：末永・菊池・片山 電話：022-355-5631